

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	権現総合公園内キャンプ場運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	平成17年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	キャンプ場の利用者は、年々増加しており、それに伴い使用料収入も増えているが、サイトの稼働率としては向上させる余地があり、そのためのPR等が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	大自然の中で、快適なアウトドアライフを楽しめるように図る。
対象 ※誰、何に対して	アウトドアに関心のある人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	キャンプ場施設の提供

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	5,416 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,867 千円
	一般財源	3,549 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	09 公園費
細目	025 権現総合公園内キャンプ場運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	4,840 千円	5,233 千円	5,416 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	適切な施設の運営管理を行なうこととし、また更なるPR活動を行い、利用者増に努めていく。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	権現総合公園内キャンプ場運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
年間開場日数	日	275	275	275
活動指標分析結果	冬期(12月1日~2月末日)を除く3月1日~11月30日の期間に開場している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
権現キャンプ場利用客数	人	6,408	6,761	7,749	令和2年度	7,949
施設稼働率	%	17.5	19.4	22.7	令和2年度	22.7
成果指標分析結果	近年のアウトドア人気もあり、年々利用者は増加している。5月の連休時は特に利用が多い。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	権現総合公園整備事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	令和元年度 ～ 令和6年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法、都市公園法

【事業概要】

現状と課題	令和6年度までにハイウェイオアシスとして整備を行うことで、NEXCO西日本と協定を締結している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	ハイウェイオアシスの整備を行い、市民のみならず高速道路利用者から利用できる総合公園を整備することで、水と緑の空間の形成を図る。
対象 ※誰、何に対して	権現総合公園利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	NEXCO西日本と協定を行っているハイウェイオアシス整備事業。令和3年度までに整備計画を策定し、令和6年度までにハイウェイオアシスの整備工事を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	14,610 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	14,610 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	09 公園費
細目	015 公園建設事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	0 千円	14,610 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	令和6年度完成に向け、事業の進捗を進めていかなければならない。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	権現総合公園整備事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業進捗率	%	0	0	2.2

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
設計委託発注件数	件	0	0	1
工事発注件数	件	0	0	0
活動指標分析結果	令和元年度に予備設計を実施し、令和2～3年度にかけて実施設計を行う予定。令和4～6年度にかけて整備工事を行う予定。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
事業進捗率	%	0	0	2.2	令和6年度	100
成果指標分析結果	適切に執行した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	宗佐農村公園移設事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	平成30年度 ~ 令和元年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	都市計画法、都市公園法

【事業概要】

現状と課題	平成30年度に現宗佐農村公園の施設を撤去済。公園移設先用地（財産区所有）を造成し、令和元年度に新規公園整備済み。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	現宗佐農村公園が県の整備する東播磨南北道路に抵触し、公園廃止となるため、公園の移設を行う。
対象 ※誰、何に対して	宗佐農村公園利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成30年度に計画案を策定し、令和元年度に整備工事を行った。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	33,308 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	23,529 千円
	一般財源	9,779 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	09 公園費
細目	015 公園建設事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	5,743 千円	33,308 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	令和元年度で事業完了

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	宗佐農村公園移設事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業進捗率	%	0	14.8	100

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
設計委託発注件数	件	0	1	0
工事発注件数	件	0	1	1
活動指標分析結果	平成30年度に移設先の新規公園の実施設計業務委託を実施するとともに、現宗佐農村公園の施設撤去工事を行なった。令和元年度に移設先の新規公園の整備工事を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	0	14.8	100	令和元年度	100
成果指標分析結果	適正に執行した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園再整備事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	平成28年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市計画法、都市公園法

【事業概要】

現状と課題	加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略のリーディング・プロジェクトに基づき、夢はぐくむ公園として再整備する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	子育て世代のニーズに対応した子どもたちの夢はぐくむ公園として整備する。
対象 ※誰、何に対して	加古川市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	平成28年度から30年度に計画案を策定し、令和元年度から2年度に駐車場工事を行い、令和3年度から駐車場の供用開始を行う。その後財政状況を鑑み、公園部分の整備を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	111,122 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	75,600 千円
	その他特財	千円
	一般財源	35,522 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	09 公園費
細目	015 公園建設事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	22,604 千円	17,502 千円	111,122 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	上位計画に基づき、また「日岡山公園周辺まちづくり構想」により整備推進する。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	日岡山公園再整備事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業進捗率	%	0.6	1.1	4.2

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
設計委託発注件数	件	0	2	1
工事発注件数	件	0	0	1
活動指標 分析結果	令和元年度～令和2年度において公園駐車場部分の工事を実施中			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	0.6	1.1	4.2	令和2年 度	100
成果指標 分析結果	適正に執行した。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川みどりの会運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	より広く会の目的や活動についてPRをしていく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川みどりの会の活動支援を通して、市民による植栽活動の促進や市民の緑化意識の高揚を図る。
対象 ※誰、何に対して	花やみどり、自然保護に関心をもつ市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川みどりの会への人的支援の他、補助金の支出

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	800 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	800 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	11 緑化推進事業費
細目	010 加古川みどりの会運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	800 千円	800 千円	800 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	地域団体の緑化事業への補助、公共施設等への植樹、緑化貢献団体への表彰、緑化推進ポスターや標語の募集、植樹祭など、市との共催イベントの開催などを毎年実施している。また、今後の更なる取り組みとして、会のPRをはじめ、花やみどりに関する市民への情報提供等を行うことができればと考える。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	加古川みどりの会運営事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川みどりの会への補助金額	円	800,000	800,000	800,000
活動指標分析結果	市からの補助金・委託金については、加古川みどりの会の収入の約30%を占める重要なもので、会の運営に不可欠なものである。なお、金額については、会の事業規模を考えると妥当なものとする。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
花いっぱい活動事業補助金交付団体件数	件	17	19	17	令和2年度	20
成果指標分析結果	花いっぱい活動事業補助金については、令和元年度は17団体へ助成となったが、年間20団体程度を目処に助成を行っている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	花とみどりのフェスティバル事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	平成2年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	都市緑地法、みどりの月間(平成18年8月8日閣議決定)

【事業概要】

現状と課題	成熟社会を迎え、やすらぎや癒しを求める人々はますます増加傾向にあり、自然やみどりの環境に対する関心は高まっている。20年以上にわたり開催されており、緑化イベントとして定着している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	日岡山公園の緑を体感し、体験学習に参加するなかで、緑化意識を高める。また、緑化活動や緑地保全に関する市民意識の高揚を図るとともに、植栽など緑化活動を実践する市民の裾野の拡大を図り、緑化推進団体や市民ボランティアとの協働を深めることで、緑化推進を担う人材の育成や発掘を図る。
対象 ※誰、何に対して	市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	緑化貢献団体や緑化ポスター・緑化標語優秀作品の表彰、緑化活動市民団体等による花苗等の販売、子ども向けの寄せ植えなどの体験学習コーナー、日岡山公園内の花壇案内、生け花や盆栽の展示、緑化相談等を行う「花とみどりのフェスティバル」を開催する。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	4,521 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,521 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	11 緑化推進事業費
細目	005 緑化推進事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	4,971 千円	4,397 千円	4,521 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>広く市民に浸透した事業であり、毎年多くの来場者を得ていることから、今後もより市民との協働を発展・進化させながら事業を継続していけば、事業目的に対する成果は着実に得られるものとする。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	花とみどりのフェスティバル事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
花とみどりのフェスティバル開催日数	日	2	2	2
活動指標分析結果	開催期間については、毎年4月28日、29日の2日間で開催することで市民にも定着していること、また2日間を1日に変更しても予算的には差がないこと、また3日間にする事で職員等スタッフの負担増につながることを考えると、現状の2日間での実施が適切と考える。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
花とみどりのフェスティバル来場者数	人	15,000	6,000	5,500	令和2年度	0
花とみどりのフェスティバル市民ボランティア数	人	310	310	310	令和2年度	0
成果指標分析結果	市民に定着しているイベントであり、今後も事業を継続していくことで、広く緑化推進に関する市民意識の高揚に寄与する事業であると考えている。					

加古川市事務事業評価シート（令和元年度実施事業）

事務事業名	花とみどりのまち推進事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	平成21年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成14年から開設し、677名の修了生を送り出している。また、修了生によりNPO法人加古川緑花クラブが組織され、現在、約230名の修了生が緑化活動を行っている。一方で、開講当初に比べると、受講生がやや減少傾向にあることが課題となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	花、緑化に関する専門的な講座を開催したり、専門員による緑化相談を実施することにより、緑化の知識や技術を取得を図る
対象 ※誰、何に対して	花や緑、緑化に関心を持つ市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	花と緑のまちづくり講座の開催及び緑化相談を実施

【コスト】

		令和元年度（決算見込）
事業費合計		5,872 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	730 千円
	一般財源	5,142 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	11 緑化推進事業費
細目	020 花とみどりのまち推進事業

【コスト推移】

	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	令和元年度（決算見込）
事業費合計	5,951 千円	5,848 千円	5,872 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>市内の緑化推進を図るため、知識や技術を修得する人材育成の場として、本事業は必要であり、継続していくことによって市内緑化の推進につながると考える。</p>

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	花とみどりのまち推進事業	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
花とみどりのまちづくり講座開催数	回	48	49	51
緑化相談開設日数	日	93	90	93
花とみどりの講習会開催数	回	21	24	21
活動指標分析結果	花とみどりのまちづくり講座については、リーダーを養成するための必要なカリキュラムとなっている。また、緑化相談の開設日や花とみどりの講習会の開催数については、相談件数や参加者数から妥当なものとする。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
リーダー養成講座受講者数	人	61	60	41	令和2年度	40
緑化相談件数	件	269	364	377	令和2年度	377
花とみどりの講習会参加者数	人	415	384	298	令和2年度	298
成果指標分析結果	花とみどりのまちづくり講座開催数、緑化相談件数、花とみどりの講習会参加者数ともに多数を維持しており、妥当なものとする。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	齋場管理運営事業	部局名	市民部
		課(室)名	市民課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	平成21年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	遺族の心情に配慮した、きめ細かいサービスが実施され、休場となる友引や年末年始後の受入件数を増やしたことで、火葬の待機はないが、今後も死亡者数の増加率を把握しながら、安定した火葬業務の提供が必要である。また、効率的・効果的な管理運営により経費節減を図っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	指定管理制度を活用することで、専門性のノウハウを生かした火葬業務の安全で円滑な運営と齋場利用者の心情に配慮したきめ細かいサービスを提供する。
対象 ※誰、何に対して	齋場利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	指定管理者に委託し、利用者の心情に配慮した管理運営や環境整備を行う。

【コスト】

	令和元年度(決算見込)	
事業費合計	84,958 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	12,923 千円
	一般財源	72,035 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	05 齋場管理費
細目	030 齋場管理運営事業

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	81,744 千円	83,843 千円	84,958 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	指定管理者制度の導入により、市民サービスの向上と経費の縮減が図られており、指定管理者制度を継続する。

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	齋場管理運営事業	部局名	市民部
		課(室)名	市民課

【対象】

対象指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民(10/1付推計人口)	人	265,055	263,697	262,308

【事業実績】

活動指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
施設開場日	日	339	339	340
活動指標分析結果	加古川市齋場の設置及び管理に関する条例に規定されている休場日を除き、施設を開場した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目標値
苦情件数	件	1	0	0	令和2年度	0
日延べ件数	件	0	0	0	令和2年度	0
開場日	日	339	339	340	令和2年度	340
成果指標分析結果	例年と同水準である。					

加古川市事務事業評価シート〈令和元年度実施事業〉

事務事業名	公園墓地募集に要する一般的経費	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	02 安全で快適な暮らしの基盤を整備する
施策	04 水と緑の空間を形成する
事業実施期間	昭和63年度 ~ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市日光山墓園の設置及び管理に関する条例、加古川市日光山墓園の設置及び管理に関する条例施行規則

【事業概要】

現状と課題	承継者の問題等により墓じまいをする方が増えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	墓地を必要としている人に対し、日光山墓園の墓地募集の周知を図る
対象 ※誰、何に対して	墓地を必要としている人
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	日光山墓園墓地募集に関すること

【コスト】

		令和元年度(決算見込)
事業費合計		492 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	492 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	11 公園墓地造成事業特別会計
款	01 総務費
項	01 総務管理費
目	01 一般管理費
細目	010 公園墓地募集に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(決算見込)
事業費合計	576 千円	3,671 千円	492 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	広報活動を継続し、貸付促進を図ると共に、新たな広報活動を模索する。

事務事業名	公園墓地募集に要する一般的経費	部局名	建設部
		課(室)名	公園緑地課

【対象】

対象指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般墓地貸付数	区画	40	70	34
合葬式墓地貸付数	体	57	50	105

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
広報かこがわ関連記事掲載回数	回	0	1	2
町内会回覧実施回数	回	0	1	2
神戸新聞掲載回数	回	0	1	1
活動指標分析結果	広報及び町内会回覧の回数の増加により、貸付数も増加すると考えられる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標年度	目 標 値
一般墓地貸付数	区画	0	70	34	令和2年度	45
合葬式墓地貸付数	体	0	48	105	令和2年度	170
成果指標分析結果	合葬式墓地の貸付数が増加し、一般墓地の貸付数が半減している。なお、平成30年度はストック区画の新規貸付を行ったことにより、一時的に貸付数が増加している。					